

Narita Airport News

NAN

2021年4月1日号 No.351
成田空港の運用状況 (2021年2月)

区 分	12月	1月	2月			
			前年同月比(%)	前年同月比(%)	日平均	
航空機発着回数(回)	10,847	9,518	42	7,625	39	272
国際線	8,608	7,938	44	6,967	46	249
旅客便	3,872	3,634	23	3,106	24	111
貨物便	4,230	4,028	238	3,611	208	129
その他	506	276	92	250	92	9
国内線	2,239	1,580	33	658	15	24
旅客便	2,194	1,534	33	630	14	23
貨物便	5	5	23	3	7	0
その他	40	41	27	25	25	1
航空旅客数(人)	385,621	271,286	7	151,934	5	5,426
国際線	166,399	133,507	4	80,566	4	2,877
日本人	42,325	33,765	3	21,374	2	763
外国人	85,732	66,196	4	33,616	4	1,201
通過客	38,342	33,546	8	25,576	9	913
国内線	219,222	137,779	22	71,368	12	2,549
国際航空貨物量(t)	207,244	192,277	132	187,105	124	6,682
積込	97,546	91,410	139	93,149	130	3,327
輸出	67,885	64,843	169	70,361	146	2,513
仮陸揚	29,661	26,567	97	22,788	97	814
取卸	109,698	100,867	126	93,956	119	3,356
輸入	77,394	71,374	129	69,776	123	2,492
仮陸揚	32,304	29,493	120	24,180	108	864
給油量(kl)	209,115	189,410	49	169,074	50	6,038

(注)1. 1月、2月は速報値。

2. 国際航空貨物量は東京税関の資料による。

羽田空港の運用状況

区 分	12月	1月	2月	
			前年同月比(%)	日平均
国際線(人)	54,002	44,756	3	1,444
日本人	35,364	30,679	4	990
外国人	18,638	14,077	2	454
国際航空貨物量(t)	32,367	29,438	70	950
積込	16,932	15,502	86	500
取卸	15,435	13,936	58	450

(注)1. 国際線旅客数は法務省、国際航空貨物量は東京税関の資料による。

航空機発着回数

前年同月比▲61% (12,062回減、一昨年同月比▲61%) となりました。

国際線発着回数は、前年同月比▲54%の6,967回で、新型コロナウイルス感染拡大による水際対策の強化により、旅客便発着回数、旅客数ともに低水準が続いています。

国内線発着回数は、前年同月比▲85%の658回となり、緊急事態宣言の影響等により旅客便発着回数、旅客数ともに前月から更に大幅減となりました。

国際線貨物便は、国際線旅客便の運休・減便により貨物スペースが減少し、国際線貨物臨時便が多数運航されたこ

とで好調を維持し、前年同月比+108%の3,611回で、2月として過去最高を記録しました。

航空旅客数

前年同月比▲95% (2,708,232人減、一昨年同月比▲95%) となり、2月として過去最低を記録しました。

国際線旅客数は、前年同月比▲96%の80,566人で2月として過去最低を記録しました。国内線旅客数は、前年同月比▲88%の71,368人となりました。

国際航空貨物量

前年同月比+24% (36,597トン増、一昨年同月比+33%) となりました。

**顔認証技術による搭乗手続き”Face Express”
成田空港と羽田空港で実証実験がスタート**

成田国際空港を運営するNAAと羽田空港国際線旅客ターミナルビルを運営する東京国際空港ターミナル(株)は、それぞれ2021年4月より顔認証技術による新しい搭乗手続き『Face Express』を実証実験としてスタートします。

Face Expressは、お客様が所定の手続きで顔写真を登録すると、空港でのその後の手続き(チェックイン、手荷物預け、保安検査、搭乗ゲート等)において、従来必要であった搭乗券やパスポートを提示することなく“顔パス”で通過または手続きできるようになります。これにより、従来の煩わしい搭乗手続きがスムーズになるとともに、コンタクトレスで手続きができ、接触リスクが軽減されることとなります。

成田空港では、以下のとおり実証実験を実施し、その後7月より本格運用を開始します。

実証実験開始：2021年4月13日(火)
参加航空会社：全日本空輸・日本航空
(今後順次拡大予定)

機器配置場所：第1ターミナル
[チェックインカウンター] C
[ゲート] 51～57A
第2ターミナル
[チェックインカウンター] K
[ゲート] 61～66, 71, 81～83, 91～93

Face Express 利用イメージ



※出国審査は「Face Express」対象外となります。

JAL ホームページより

※Face Expressの詳細につきましては、特設ウェブサイトをご覧ください。

特設ウェブサイト:

<https://www.narita-airport.jp/jp/faceexpress/>

**大好評！
成田空港スペシャルバスツアー**

NAAと(株)GPAでは、成田空港で一般に公開されていないエリアをバスで巡り、レアな体験ができる「成田空港スペシャルバスツアー」を販売しました。

第一弾では、空港内の通常は関係者以外は立ち入り禁止となっているエリアをバスで巡り、駐機している飛行機や離着陸する飛行機を間近で見たり、昨年の9月に供用開始されたランプセントラルタワーでは360°空港全体を上から見学するなど貴重な体験をした後にJAL直営レストランでのランチといちご狩りを楽しめる内容となっていました。販売開始後、即完売になるほどの人気となりました。

なお、第二弾についても近日中に発売予定としていますが、各回ともに人数限定の販売となっていることから、ツアーの最新情報を入手したい方は、以下の専用サイトまたはTwitterをご参照ください。



URL: <https://nrttour.gpa-travel.jp/>

尾翼

新型コロナウイルスが脅威となつてから約一年が過ぎました。今や世界中を席卷し、更に変異したウイルスが発見されています。国際間移動は制限され、二月の成田空港の国際線外国人旅客数が前年同月比4%であったように、この一年、国際線旅客数は悲惨な状況が続き、これからは前年同月比が必要と思われまます。協会も収入が半減し、政府の雇用調整助成金等を活用してきたところですが、今年度も公益事業の実施に加え、法人の存続、雇用の維持、職員の生活を念頭に努力していかねばなりません。コロナ禍に対応して、リモート化が急速に進み、リモート会議に加えてテレワークが一層推進されています。リモート化が進むとこれからは国際間の移動が減ることが予想されます。リモート化は、時間を旅行するタイムマシン小説を描きましたが、新型コロナウイルスは、インターネットの活用により場所を移動せずにより多くのビジネスが可能であることを促しました。ウイルスのお蔭だと言いたくないのですが移動時間を他に活用するのは我々です。(T.S)